

日本教師台湾訪問研修

1月3日から7日にかけて全日本教職員連盟12名が、台湾との教育交流を目的に3年ぶりに研修を行った。香川からは高木委員長が参加した。今回の研修では、嘉木市(かぎし)を中心に、小学校・中学校の最先端のICT教育の実際を見学することができた。

嘉木市橋平小学校では、学校に熱転写機や3Dプリンター(8台)が配置され、Tシャツの作成やAR・VR体験等も授業の中で取り入れられており、驚愕した。

台中市塩水中学校では、プログラミング教育の授業を実際に参観し、模型の車を3人のチームで協力しながらプログラミング通りに走らせること目的としているのだが、3人が高いコミュニケーション能力を発揮して熱心に取り組んでいる姿に感動した。



第2回採用試験対策部研修会の御案内

令和5年度教員採用試験に向けて、スタートを切りましょう!第2回目は1月21日に教職教養と一般教養、専門教養の模試を行う予定です。

なかなか忙しくて、採用試験に向けての勉強どころではないかもしれませんが、こういう機会を利用して、地道に前へ進んでいくしかありません。一緒に頑張りましょう。是非、講師の方のお声かけして下さい。

日時 令和5年3月4日(土)
18:00~21:00
場所 香川県教育会館 第3会議室
高松市西宝町2丁目6-40
受験料 教職教養900円 一般教養900円
同時1300円
専門教養1300円

お申し込みは、
右QRコードから



- 昨年1次試験合格者は、今年の1次試験は免除されます。
- 専門教養で、小中併願の方は、小全教科・中(教科)と両方申し込んで下さい。

特別じゃない特別支援教育を⑧
がまぐち先生

前回は「毒語」の具体例を示しました。類別すると

- ・質問形式で問い詰めるような毒語
- ・本当の意図を語らずに、裏を読ませるような毒語
- ・脅して動かそうとするような毒語
- ・虎の威を借るような毒語
- ・下学年の子と比較するような毒語
- ・指導者側に責任がないことを強調するような毒語
- ・見捨てるような毒語

のようにになります。毒語がでてしまう背景には、必ずと言って良いほど大人側の焦りがあります。毒語は、早く子どもを動かしたい、指示通りの姿にさせたいという大人の焦る気持ちの裏返しです。

「毒語」を使うことで、まるで指導したかのような錯覚を指導者側にもたらしますが、実際には子どもをポジティブな方向に導くことはなく、むしろ子どもの心に傷を作ります。

「毒語」を使わないように防止に努めることが最も大切ですが、もし仮に使用してしまった場合には次のような対応を心がけるようにしましょう。

- ・即座に謝罪し、訂正する。
- ・真意や期待を丁寧に伝え直す。
- ・子どもが起こしたことについて「こちらは引きずっていかないし怒っていない」という態度を示し続ける。
- ・子どものトラウマへの影響はないか、注意深く見守る。

次号へ続く

会員の声(給特法について)

今回、たくさんの御意見が寄せられました。ありがとうございます。小学校O先生(男性)、「担任を嫌がる人が最近多く、文句を言わない人にたくさんの仕事が降りかかっている。これで全員同じというのは不公平に感じる。」小学校K先生(男性)、「給特法4%はあってないようなもの。見直しを行ってほしい。」小学校O先生(女性)、「小中学校に関しては、教員のボランティア労働に支えられているのが現状。教員の仕事を減らしてほしいし、4%も少なすぎます。教育にもっと予算を割いてほしい。」他にもたくさん御意見をいただきました。

喫緊の課題として、給与面、業務面両方の改革が必要になっているのは事実です。貴重な御意見を必ず、政府に、国会に、文科省に、財務省に届けてまいります。

引き続き、御意見をいただきたいと思います。

右QRコードを読み取って、所属校、名前、感想・御意見を記入して送信して下さい。応募して下さいの方の中から抽選で図書カードをプレゼントいたします。下のメールアドレスに直接メールしても大丈夫です。

メールアドレス:kakyoren2021@gmail.com



「話の内容がすごく具体的で、私も恐れずに対応できるかと思いましたが、この感想が述べられた。」

参加された先生方からは、「保護者対応は、心も気分もすごく沈んでしまうことが多く、辛い思い出しかなかったが、これからは勇気を持って対応できそうな気持ちになりました。」



最後に、学校として「できること」「できないこと」を判断するためのチェックポイントを五つ紹介する。

- ☆児童・生徒本人の努力だけではどうしても克服できず、個別の配慮を要する問題であるかどうか。(その配慮について、他の子どもや保護者への説明ができるか)
- ☆「子どものため」というより、保護者自身の不安や感情の解消のために要望しているのではないか。(この場合、その感情を解きほぐすことに視点を置く)
- ☆子ども自身がそのことを望んでいるのかどうか。
- ☆その要望の実現が、将来も見通して本当に子どものためになるのか。
- ☆実際に学校独自に対応できる範囲内の要望であるのかどうか。



挨拶される高木委員長



会長・事務局長会の様子



情報交換する 東部教育事務所地域の単組



情報交換する 西部教育事務所地域の単組

一月十五日(日)香川県教育会館三階会議室において、第四回会長・事務局長会、第二回人事対策委員会が開催された。本部役員および各単組の会長・事務局長、人事対策委員の二十五名が出席した。

高木香教連委員長は、「人事は会員にとって最も重要なこととす。各市町の教育委員会や教育事務所と間違いないようにきちんと伝えていきましょう。」と挨拶された。

第四回からの行事の経過報告の後、三月までの行事予定の確認と新年度に向けての組織の強化について話し合いが行われた。

会長・事務局長の後、人事対策委員会が開催され、各単組で集約された会員の情報で、郡市をまたがる人事に関しては人事対策部員を交えて綿密に情報交換がなされた。

香川県教育委員会への人事要望は、二月一日に行われる。

第4回会長・事務局長会 第2回人事対策委員会

会員の皆様の声を伝えます!

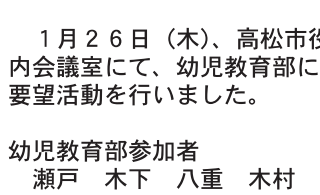


1月27日(金)、香川県教育委員会東部教育事務所にて、事務所管轄内単組による、人事に関する要望を行いました。

参加単組
高松 木田 大川 小豆 直島



第229回全日教連 執行委員会(1月28日)



幼児教育部参加者 瀬戸 木下 八重 木村 山中



第88回全日教連 評議員会(1月29日)

一月二十八日(土)、二十九日(日)東京全日教連事務所および都市センターホテル会議室において、第229回執行委員会、第88回評議員会が開催された。香教連からは、高木全日教連副委員長、黒川執行委員、原井評議員が参加した。令和五年年度の行事を振り返りながら、令和五年年度の行事予定などを話し合われた。詳しい内容は、全日教連新聞二月月号を参考に。

全日教連 執行委員会 評議員会 開催